



みやー姉は彼女

ひなたちゃんはおもちゃ

最近 **みやこ** という彼女が出来た

大学でちよつと優しくしてやったら

すぐにカン違いしてきたチョロい奴だ



なんとも芋くさく垢抜けない女だったが

なにぶん **おっぱい** と **尻** はなかなかだったので

やれるならヤツとくかというノリで付き合うことにした

しかしこの歳で
処女だと知った時は
正直引いたね

「わわたし初めてだから…その…」

「はあ？マジでらってんの？」

んキ

ドキ

「これから処女散らす格好じゃねーだろそれw」

「ああなたがこうしろって…」



ひくひく

ひくひく

はっ

かーん

ギ

ギ



「ゆっくり! ゆっくりで!」

「わーてるって」
ひんんん...

まじまじ...

(すげーメス臭w)

そ...

「あーあーあー」

ひゅん

はあ！

ひゅん



「ひゅっくりり！ひゅっくりり！」

「ひたいっ！さげちやうっ」

おっ

おっ

「うるせーなあすぐ馴染むから黙ってるや」

ひゅっ

ひゅっ

チユッ

チユッ

チユッ

チユッ

処女だと後々めんどーかなって思ったが

まあ身体はエロかったのでよしとした



「みゃー姉はわたしのだぞっ!」

しかしみゃこには面倒なオマケが付いてきた

みゃこの妹らしいひなたちゃんだ

「ウチから出てけっ」



「みゃこが今日大学だから帰ってくるのを待ってんだよ」

「お姉ちゃんにも許可貰ってるっての」

「うるさい出てけっ」

「俺おねーちゃんの彼氏よ?w」

「そんなのいらないうっ出てけっ!!!」

「……ほんつとうるせえな」

「っ」

びいっ

「ひなたちゃんには**教育**が必要みたいだなあ」

「っ!？」



カ
タ
タ

「うあ!?!」

「なにすんだ!?!」

「ん?」

「生意気なガキに大人の怖さを
教えてやるんだよ」





「うるせえよ」

「……え？……え？」

ほつぺたを二発
はたいでやると
途端に大人しくなった

「もうぶたれたく
なかつたら静かに
してるよ？」

(暴力なんて受けたこと
ないんだろう
かたまってるよw)





わかりやすく
びびっでんなw

カク
カク

「それとももう一発
ほしいかの?w」

「びびっ!!」

カク
カク

しよわあああ……

『いたいよお……みやー姉……』

「うあ信じらんねえ
漏らしやがった」

『みやー姉え……』





むわあ...

「みゃー姉え」

「まだ帰ってこねえつて」

「みゃー姉つ」

~~~~~

しり

よ

~~~~~

すずるるるるっ

「小便可せえのは
ぶり気しねえが……」

「!?」

「……まあガキでも
ついでるもんはついでるしな」

「なにして……!」

るーんっ



くは。

「ちのち」

「まあローションつけりゃ
しけるぞ」

カカ
カカ

「みゃー姉え……っ」

「そのみゃー姉と
同じことしてやるんだよ」

……
カカ

「おらこいち向け」



はぁ……

「おっおっおっ」

「さすがに10歳はきちーわw」

ほっ!?

おっおっおっ

ポポポポ
ポポポポ
ポポポポ

びびびび
びびびび
びびびび

びびびび
びびびび
びびびび

「ち○こ潰れそーw」





ひゅん

ひゅん

ひゅん

ひゅん

ひゅん

がわん
がわん
がわん

「にしてもさっきまでの威勢はどこへやらW」

「まあまた気が向いたら使つてやるよW」

「ねひなたちゃん♡」

せい
せい

しい
は
は

か
か



しっかし成り行きとはいえ

姉妹の処女破っちまったなw

将来中古のこの子らを
引き取ってくれる負け犬の男共よw

汚しちゃって
ゴメンな(笑)



「んっ……んえ」

最初はあまりの拙さに
萎えきったパイズリも
教え込んだ甲斐もあり
いくらかマシになってきた

「だいぶ上手くなったじゃ
ねえかよ」

「っ」



「ほっほんとう?」

「あありがとう」

「まカラダだけは
いいからなおまえ」

たっ
たっ
たっ
たっ

たっ
たっ
たっ
たっ



「てか休んでんじやねえよ」

「赤」

「おっぱい」

「おっぱい」



まったく健気なもんだぜ

小○の妹が
犯されたとも知らずにw

ぐくぐく
ポッポッポッ

ポッポッ

ポッ

じゃぶじゃぶ

呑気に嬉しそうな顔しちゃって
チヨロすぎだろ

背徳感(笑)で
興奮するわ

タピ

タプ



てんか
てんか

ひゃ
ひゃ

てんか
てんか

てんか
てんか

ん
ん

ん
ん

し
ん
ん

ん
ん

ん
ん

「ああ〜……」

従順な女ってのは
いいねえ



「かんけーねーけど」

「おまえとおまえの妹って
性格正反対だよなあ」

「あひなた？
うんそうなんだよね…」

「……実はひなた」

「最初はーくんの文句
ばっかり言ってたんだけど」

「近頃は何も言わなくなって
ーくんのこと認めてくれたのかな」

「……へえ
そりや嬉しいねえ」



笑うのを堪えるのに必死だったね

俺を認めてくれた？
あのがキが？

俺がトラウマ植え付けたから
だつっーのw



「はやくっ」

「もれそお……っ」

今日もみやこと予定が合わなかったので

ひなたちゃんを連れて暇をつぶすことにした

ひなたちゃんはすっかり俺に懐いてくれていた♡



「ほら到着ガマンできてエライぞ」

「ココの公園で済ませろよ」

「……トイレないっ」

「だからココでしろよ」

「……え」

「ほらどうしたよ?」

「したいんだろ? おしっこ」

「しろよ」

「うんぬん」

「なんでこんなところでえ...」



ブル

ブル

ブル

ふ、わあ〜...

ブル

「ガキなんだから外でしたって恥ずかしくねえってw」

「わたしはもう〇年生だ…っ」

「女子だぞっ」

「毛も生えてねえ女の放尿
なんて誰も興味ねーよw」

「—とそうでもない
みたいだなw」

「？」



「うわっ！」

「おいみんな！
変な女がいるぞお！」

「尻出してる！」

キョッ

「?!?!?!」

びくっ

「ほらw
早くしねーと見物客が
増えちまうぞw」

「ややめろお」

「くるなあ！」



「うっわ！マジだ！」

「なにしてんだこいつー！」

カチカチカチカチ

ぱく

ぱく

「女のアソコ丸出しじゃんw」

「えろーっ」

「くるなあ…っ」



「これからこの子がおしっこするから
皆で見守ってあげてなw」

「まじで？変態じゃん」

「なんかひくひくしてるしw
きもっw」

おめ

おめ

「みゃー姉…っ」

「みゃー姉…っ」

「女子のシッコとか
初めてみるわ」

がっ
がっ

がっ
がっ
がっ

ぎゅ
がっ
がっ
がっ

がっ
がっ



「俺のつちばーん！」

ほお！

「うあ……なんだこれ……
めっちゃあつたかくて……」

「きもちええ……」

「やめろお……」

又
ぱんぱん

「ぞろぞろこれら」

「腰止まんねえっ」

「きもちよすねるの」

カクカク

カクカク

ちゅぷ♡

ちゅぷ♡

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

「まじかよはやく代われよー」

「あっあっあっあっ
なんかっ」

「なんかでるっ」



おぼ
はっ?

ひい

ひゃ
ひゃ
ひゃ

も
く
っ
B

ガ
ガ
ガ

「腰っガクガクつとまらなつ」

「やぐえめつちやヒロス...」

そい

そい
そい
そい...

ガクガク

ガクガク

おい

おい

はく
はく

はく
はく

はく
はく

「よかつたなあひなたちゃん
中に出してもらえてw」

「もう全部脱がしちゃおうぜ」

「おいおいw怪我はさせんなよ?
バレるとめんどいからw」

「うめ…っマジだっ」

フッフッフ

「のぞきまぢららら」

ムプロムプロムプロ

「はっ離れろおっ！」

「こっこんなのっ我慢
できないっ」

がっがっ

「あーっ」

「あーっ」



「あっあっあっくちっ」

「口に擦り付けるのも
きもちいいっ」

ヌ
ヌ
フ
フ
フ
フ

「やわらかくてっ
プニプニしててっ」

「あッッッ」

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ

「そんなもの
近づけるなあっ」

「おいボウズちげえよ
もっとこうっ」



「深く挿しこむように
腰を押し付けるんだよ！」

ズ
ン
ン

び
く
ん

び
く
ん



「うおすげえっ!
ビクビクなってる！」

「あっすごくっ
締め付けてくるっ」





「終わったらどけよっ次は俺だっ」

「す吸い取られるっ♡」

「あああああっ♡」

びく
びく
びく
びく



性に目覚めたガキ共の交尾に終わりはなく
いつまでも猿みだいに腰を振っていた

この歳でしかも
二回目で複数プレイとは
姉顔負けだなこりゃw

「うあまたでるっ……っ」

ひゅっ

ひゅっ
ひゅっ

ひゅっ

ひゅっ

ひゅっ

みやこも
俺のちんぽしか
知らないのも
不憫だし

こんどセッティングして
やるとしようw



「こんなところ来てどうするの?」

「どうするって」

「セックス以外になにがあんだよ」

「公園で!」

「流石に広場のど真ん中でパコるのは無理あるし」

「ほれ」

「うってつけの場所があそこにあるだろw」

「ああそこって…」

「まさか…」

「ほらとっとと脱げって」

「どどろしてこんなトコで…」

っ、わっ

ドキ

ドキ

「家以外でもイイって
おまえも言ったじゃねえか」

「だからってこんな汚い場所……
男子トイレなんか…」

むわっ…

「ぐちぐちうるせーよ
はやく脱いでオナれっての」

「ううー……」



「こんなの変態だよお…」

「誰か来ちゃったら…」

「その時は俺が守ってやるからw」

「こんな姿…ひなた達には絶対
見せられない…っ」

そのひなたちゃんはこの前
そこで公開放尿していたわけだがw



「んっ……んっ」

「んあ……っ」

「おいおいおいなんだよ」

「文句のわりにしっっかり
感じてんじゃねーかw」

「っ!？」

「そっそんなわけっ」



「じゃあその股から垂れてんのはなんなんだよw」

「えっ」

「とんだ露出狂だぜこいつw」

「ううううう」

「あっ♡」

「おいきそうか？w」

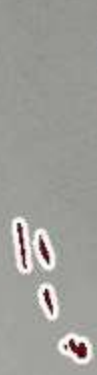
「!?!?!」

ちゅくちゅく
ちゅくちゅく

ちゅくちゅく
ちゅくちゅく

とろー……

んんん



「あっあっあっあっ」

「イッイッちゃ」

「なっ!!」

「なんだ君らっ何してるんだ!」

「あどーもw」

「んお!?!♡」

ほっ!!

ほっ!!

「おっ♡」

「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

びくっ

びくっ

プンジャクン

ガクガク

見つかったわ

「はははっうけるw」

「このっ驚きながらイッてやがるw」

「露出狂だ...」



見つかつちまつたならしよーがねえよなw

こいつは「おのれ」の
罰ゲーム

「えっ」

「さあ」

「なんでっ!?!」

「たすけてよおっ!」

「本当にいいのかい…?」

「彼女さんのゴコロ借りちゃって」

「いいっすいいっす
こういうプレイなんでW」

「じゃじゃあ…W」

ふんふん
りんりん

ギン

ギン



「じよ冗談…だよね？」

「ホントは止めてくれるんだよね？」

「いやいやwだからプレイの二環だつてw」

「それにおまえだつてま○こトロツトロにして」

トロキ…♡

ひっ

ひっ

「準備万全じゃねーかw」

「こっこれはっさつきイッ…」

「ったばかりだから…」

「てか今更止めるのムリっしょ」

あっ

あ

あ





お
い
!

お
ん

お
ん

お
ん

お
ん

「うえええええつ」

「なんでよお」

「口で言う割に腰はおっさんのチ○ポへ向かってるぜ?w」

ぐびる

「抜いてよおつ」

「んおっ♡」

「そっそんなのっ」

「やだあつ」

「すごい♡……これが若い子のま○こ……っ」

ぐびる

キゅん

「女房のと締りがまるでちがうっ♡」

ほっ

おっ

ん



(なんでっ♡)

ぞくぞく

(嫌なの♡)

ぽお〜

「おおお腰がっ腰が止まらんっ」

「カラダはいいんすよねw」

「説得力のねえトロケ顔だぜまったくw」

しよる

しよる

しよる

チヨム

ぽろぽろ

へっ

「イクッ」

「出るっ」

「って聞こえてないかw」

びびる

びびる

か

く

びびる

く

ドクドク

ちゅーちゅー

びびる

ちゅーちゅー

「おおおおおおおおおおおおお♡♡♡♡」



「いやあ……たまらない♡」

「まさかこの歳でこんな若くて可愛いコとできるとは感激だよ」

「満足していただけて
なによりですw」

(うそ……中に出された……)

(こんなの絶対変だよ……)

(何考えてるのかわかんないよ……)

びくっ

びくっ

びくっ

しゅわ
ぽわ
ぽわ

かっ
かっ
かっ

かっ
かっ



あー＝発スツキリしてえなあ

みやこはレポート出で不在とか言うし

こうなったらオナホでも使うかw

◎学生はもう家に帰ってるだろうからなw

ひなたちゃん♡

一緒にソープごっこでもしようぜえ♡

「おっ♡そっ♡そっ♡」

「いいねえひなたちゃん♡」

「どんどん上手になってくねえ♡」

ぐっぐっ

ぐっぐっ

ぐっぐっ

ぐっぐっ

「ぐっぐっ」

「ぐっぐっぐっ」

「フェラでいえばみやこよりうまいよ♡」

「十年したら彼女にしてやってもいいぜ?w」

「あでる」

カッ!

ビュッ

ビュッ

カッ!

びゅー
びゅー
びゅー

びゅー
びゅー
びゅー

びゅー

びゅー

カッ!

「おっ偉いねえひなたちゃん」

「言わないでもしっっかり飲んでくれるようになって♡」

「みやこなんてしばらくは吐いてたからなあ」

フーッ

えくそく

フーッ

「うわ」

「じゃひなたちゃん次も言わないでもわかるよね？」

「優秀だもんねひなたちゃん♡」

じゅわんわん
びゅんびゅん

ぐびゅん
びゅん

つり
きり





「そう♡」

「自分でち○こを入れて」

「自分で腰を振って」

「俺を気持よくさせてくれ♡」

ブル

んき

アッ

んき

「っ……」

「ん? どうした? こわいの? w」

「こわくないっ!」

ブル

んき

ズ
ズ
プ

ー
カ
カ
カ

ビ
ビ
ビ
ビ

ビ
ビ
ビ
ビ

♡
♡

♡
♡
♡

「おいおいwひと挿しで
ま〇こ痙攣してるぞw」

(こいつ〇歳とは思えん感度だなw)



「そんなんで腰振れんのかよw」

「やっぱりみやこ呼び出して
あいつにやってもらおうかなあ」

「でっできるからだまってでっ！」

ガッガッガッ

ガッガッガッ



「ごんなのっ」

「ぜんぜんっ」

「たいじたごどっ」

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

ズ
ポ

お
お

お
お

お
お

お
お



「ひと挿しごとに潮吹きながらでよく言うわw」

「この全自動生オナホがw」

「おっ」

「あー…精子のぼってきた」

えい
えい
えい

「○学生はやっぱり締りが桁違えだわ」

「イクッ」

か
タ

プ
ン
ッ

プ
ン
ッ

か
タ





あー
あー

あー

とびかっ
とびかっ
♡

びやくびやく
びやくびやく

コホ
♡

コホ
♡

びやくびやく
びやくびやく





「あーまた盛大に漏らしやがって」

「風呂だからいいけどきつたねーな」

「♡♡♡♡♡」

あががが

プ

プン

「♡♡♡♡♡」

がた
がた
「くっせw」

がた
がた

がた

がた

がた
がた
がた



みやこに妙なコスプレ趣味があることは知っていた

みやこ本人は否定していたが

せっかくだし人に見せりゃいい

そこで俺はみやこの為

そのテのイベントに連れて行ってやったわけだ

「おおい」

「アレ見ろよ…」

「露出多すぎだろ…」

「生地ペラペラすぎて
乳首透けてるしw」

「下なんて丸出しじゃねーか…」

「完全アウトだろ…」



(うううっ見られてるっ)

(普通でも恥ずかしいのにっ)

「おおー…」

ひいひい…

(こんな格好
しんじやうよっ)

「よかったなwすげー
注目されてんぞw」

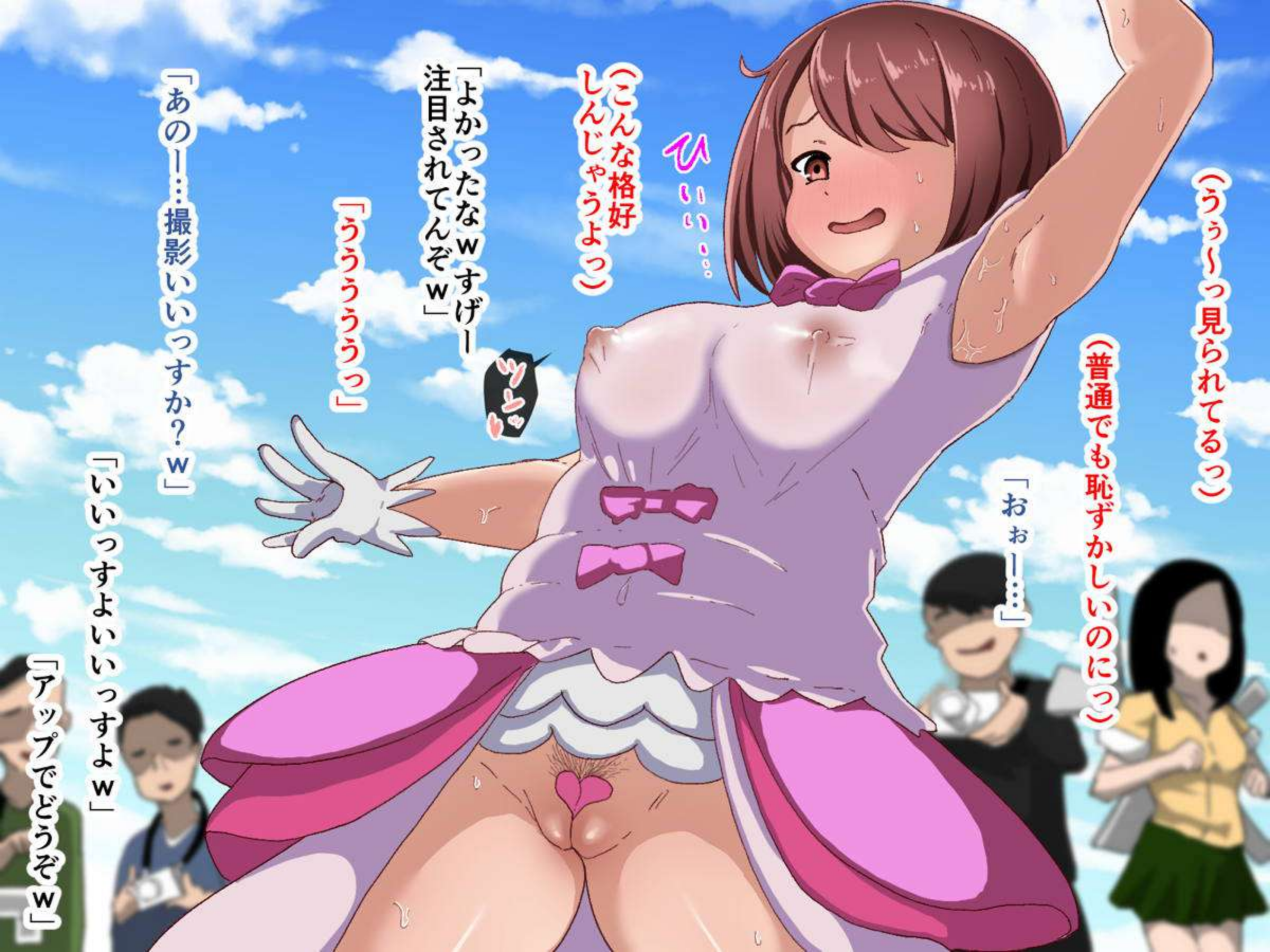


「うううううう」

「あのー…撮影いいつすか?w」

「うううすよらううすよw」

「アップでどうぞw」



(この人達絶対ヘンなトコロ
ばっかり撮ってるっ！)

(ちちちちち近いっ！)

「こっちもお願いしまーす」

「いやあすごい
思い切ったコスツスねえw」



むわわわ

あははは

「腋汗やばっw」

「緊張気味なのかな?w」

「臭いもすご」

（うろうろう
嗅がないでえ）

（それにお股ばっかり撮られて
……なんか変な気分だよお）

「腋どころか…下もシミてね?」

（言わないでえええええっ）



じわあ

カキッ

カキッ

「あー！」

「アソコのシール！」

(ひひひひひひ)

(うそおおおおっ)

「剥がれちゃたw」

「うわあ…正真正銘
おま○こ丸見えだよ…」

「てかやっぱ濡れてるしw」



(そこばかり撮らないでえっ)

「ほらみやこアレやってやれ」

「ええっほんとにやるの!？」

「とっととやれよ」

「やらないなら俺はおまえを置いて今すぐ帰るが?w」

「~~~~~」

「~~~~~」



「もっ」

「もしよかつたらっ」

「わっ」

「私のおっおま○こっで」

「おっ」

「オ○ニーしてくださいさー」

「はぁ
はぁ」



「おおいおいマジかよ……」

「くそっ……エロすぎんだろ……
ま○こヒクつかせやがって……」

プル

「しろのかよこれ……違反だろ」

「皆さん遠慮せずぶっかけてくださいw」

プル

「スタッフが来る前にw」

「俺っもう我慢できねえ……」

「ぶっつていうなら……」

ひゅん
ひゅん

（ああ…ほんとにしてる…）

「ああ…ま〇こ…丸見えま〇こ…」

あわわわ…

（うっ…すごい臭い…）

「すけすけ乳首…」

（わたしで興奮して…）

（あそこをあんなに擦って…）

（男の人の…発情した臭い…）



「あつ」

「えっ」

ひく、

「やっやあつり!」

「これはつちがつ」

「おいこいつあんなに愛液垂らしてやがるっ」

「とんだ変態女だ……」

「見られて興奮してるんだ……」

なとあ



(なんでっ どうして!?)

(あっだめっ
意識したら余計にっ)

あっ

あ

(あっ あっ あっ あっ あっ)

(恥ずかしいのにっ♡)

ぞくぞくぞくぞくぞくぞく

まじっ

ぞくぞくぞくぞくぞくぞく

(イツちやうっ)

(触ってもないのにっ♡)

(見られてるだけでイツちやうっ♡)



「ちよっ」

「は？」

「ちよっただけなら触ってもっ」

「ひぎっ!!」

「今触ったら!!」

「うあーすっ」

「締めつけっ」

「はっ」





ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ほっほっ

ほっほっ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

「うっあああああ♡♡♡♡♡」

おっ

おっ

「ぶっかけ最高お……♡♡♡♡♡」

「スゲー顔……」

「ぶっイッてるんだ……っこれっ」

「あっ俺もっ」

びゅん

びゅん

びゅん

カハハハ

カハハハ

ギョ

びゅん

びゅん

うっ

うっ



♡ イッちゃった……♡♡♡

♡ こんな大勢に見られてる中で♡♡♡



その出来上がった穴で俺も二発かまそうかと思っただが

流石にスタッツの方々がザワつきだしたので逃げた

たまにはこういうイベントも面白いもんだなw

みやこと予定が合わない時は

オナホで遊ぶのが俺のパターンになっていた

今日はそのオナホを連れて屋内プールまで来たところだ
彼女の妹さんと遊んであげる……なんていい彼氏だろうか

「ほんとに大丈夫か…?」

「なんだよいっちょ前に恥ずかしがってるのか?」

「……」

「おらとっつと行くぞせっかく連れてきてやったんだ」

「……」

「なんで女なのに男物なんか着ないとダメなんだっ」

さっか...

「そんな膨らんでない胸隠す必要ないだろーがw」

わ...

「すっごい見られてるぞ.....」

「自意識過剰かよwせっかく俺のお古を持つてきてやったんだから素直に喜べw」



「あっ！」

「この前のお兄さんとおしっこ女！」

びくっ

「公園のガキ共じゃねーか奇遇だな」

「どどうも(チラチラ)」

!!

ガキ共w
話しながらも視線はひなたちゃんの
カラダばっか見てんなあw



「今日はやらせねーぞ?」

「そんなあ!」

「こんなトコで盛られたら俺の責任問題だろw」

「ううう……(ギンギン)」

「まあでも…触るくらいなら許すw」

プク

「なっ!」

「おっぱあー!」

「おっぱあー!」

「おっぱあー!」

「女子のおっぱあー! 女子のおっぱあー!」

「おいおいガッツくなよw」

ズン
ン
ン



ひくひく
んっ
っ

「あつなんかココ」

「すっげえ熱くなってきた！」

か
た

「なんだよひなたちゃん感じてんの？」

「うーっ!!」

「おおっすっげえ」

びく
んっ
っ

ガ
タ

「ビクビクしてるっ」



「いでらあー!」

びくんっ
びくんっ

「こいつまたおしっこしてんぞ!」

「ほんとだ黄色くなってる! 漏らした!」

「はあ? 勘弁してくれよきつたねえな」

「先上がるわ」

あ
あ
あ
あ...

い
わ
あ
あ

ぷ
ぷ
ぷ
ぷ



「なつまま」

それから少し、ひなたちゃんとはぐれた

やっとそのオナホと再会できたのは、更衣室まで戻った時だ

「ずいぶんと可愛がって
もらってるみたいじゃねえかW」

「だずっげでっ」

「だずげっ」

「何言ってるのかわかんね」



「ガキ同士ならまだしも」

「こんな変態中年ロ○コンおじさんに犯されて」

「可哀想にw」

ズッ

チュ

ム

ズッ

チュ

ズッ

チュ

れろ
れろ
れろ

んんんん

くっくっくっ

「みてないで助けるおっ!!」

「いやそんな巨体どかせねーって」

「もうやだあ!」

「これしたくないらっ!」



「あっ!!」

「やっやめろお!」

「やだやだやだやだやだやだやだやだやだやだっ!」

「おおおおおお」

おお
おお

おお

〜



ひゃ

ひゃ

ひゃ

ひゃ

く

ク

ク

ク

おー!!

ほー!!

とろ〜ん

「種付けされてめっちゃ
気持ちよさそーじゃんw」

どっ
ぽっ
ぽっ
ぽっ
ぽっ

♡♡♡

♡♡♡

「妹のメス顔みやくこにも見せてやりたいぜ」

ぱく

ぱく



姉妹の痴態
見せたらマジで楽しそうだな

.....やってみるかw



「銭湯行こうぜ」

という彼の提案は最初から嫌な予感しか
しませんでした

そして、その予感はずぐさま的中しました……。

(まさか男湯に同行しろだなんてっ)

カッ...

(やっぱりどうかしてるよっ)

「隠すなよ？おまえカラダだけは立派なんだから照れるなっ」

えじ
えじ

「だっだっで！
すっごい見られてるよっ！」

「ちよっとくらいネタを提供してやれよw」

井

(うわうわうわ)



「ひえっ!!」

「お嬢ちゃんここ男湯だっでわかってる?」

!?

ぱんぱん

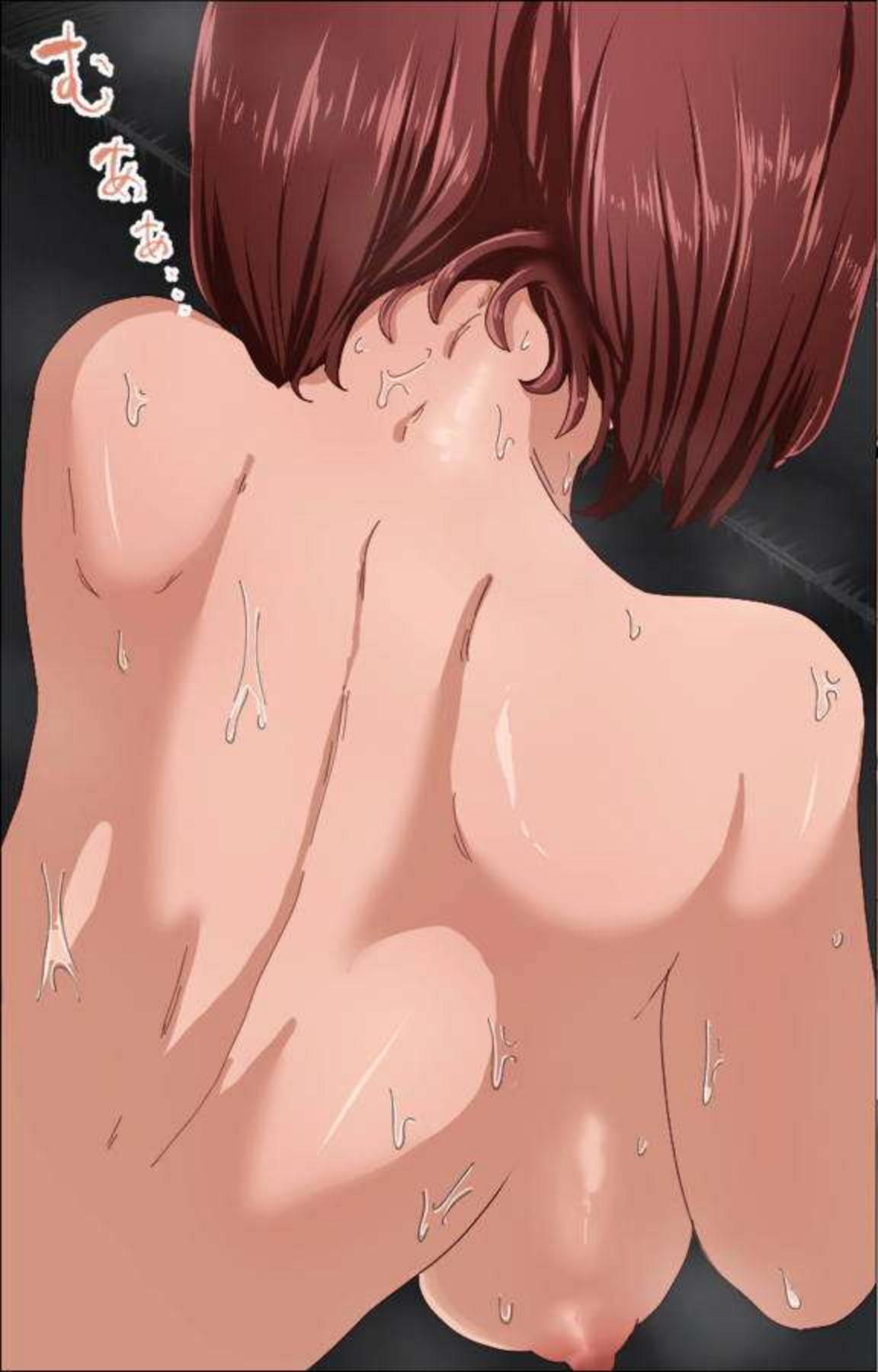
(ちっ近いら!!)

「お兄ちゃんのカノジョさん?
エロくて羨ましいなあ」

「どっもw」

(ななななんでこの人達堂々と見せつけてくるの!!)

(しっしかもこんな
そそり勃たせてっ)



むあぁあ



「いやあしかし...
こんなの見せられちゃ
辛坊できないなあ」

(ままさか...)

「ズリネタにするくらいならイイっすよw」

「ほんとかい？そりゃ助かるねえ！」



えっ
えっ

「じいごめんねっ出すよっ」

「あっあー……でる」

「お譲ちゃんフェロモン
むんむんで……ううっ」



「ああ〜たまらないねえ」

（なに？なにしてるのこの人たち）



びゅん
びゅん

タバ
タバ

「おおおお♡♡」

びゅん
びゅん



「おっ♡」

びゅん
びゅん

びゅん
びゅん

「ひゃあっ!!」

「なんか背中につー!」

(oooooooooooo)

「あっあー……♡」

「ねねえお譲ちゃん…」

「まだおさまらないからさあ」

「続きを…♡」

「イヤですイヤですイヤですっ!」

「もうイヤですっ!」

「ちっなんだよ」

「あつちのびなたちゃんって子はあんなに大胆にヤッてるのになあ…」

「……は?」

「なんて……」

ニヤニヤ



ひんひん



「ハイイW」

「姉妹のご対面」

お。

お。

「ひ…ひな…た…た…?」

ピクピク

ピクピク

「なん…で」

「なに…して…」

「さあ…」

「う…」



「……!?」

「みや……みゃー姉?」

「なんでここに……いるんだ?」

「実はなみやこ」

「ひなたちゃんはこの銭湯の名物オナホなんだよw」

(もち俺プロデューサーw)



「おいサボんなガキっ」

「ま〇こ締めろっ」

ズ
サ

「あ……」

「あ……」

「あ」

「あああああああっ」

「ナイスリアクションみやこW」

ズ
サ



「黙れよ」

えっ！
えっ！

ズム

グ
グ
グ

A
—
—
—

ム
ム
ム





てひんく

てひんく

「見ろよおまえの妹」

「あの歳でち○ぽ入れられて潮吹いてんだぜ?」w」

「お姉ちゃんも負けてらんないよなあ?」

おおお

おお

パイパイ

♡♡♡

♡♡♡

「?」



! ! !
♡

おっ

「最高にソッソるんだよっ!!」

ズッ
ボッ

「みや」

「みやー姉……っ」

「おほっ♡すげー濡れ方w」

「すげー締め付けw」

「おっ」

グッポッ

グッポッ

グッポッ

カクカク

「おっ」

グッ

「ポッ (そんな…ひなた…)」

「最初からこうしとけばよかったわw」



「おっ♡」

「ごっちも姉の痴態に反応してなかなかっ♡」

「みゃー姉え…」

まじっ♡

「よく見てやれよおねーちゃんw」

グッホッ♡

ズキキ♡

ヌホッ♡
ヌホッ♡
ヌホッ♡

「おまえの妹おまえのセックス見て興奮してるみたいだぜw」

グッホッ♡





♡♡♡♡

おっぱい

ほおび

みくみく
んっ

♡

みくみく
んっ

ぐわんぐわん

はっしんっ

「イキやがったw」

「妹より先にwだらしねえw」

「ほーらひなたちゃん」

「おねーちゃんのトロっトロのイキ顔」

「じっくり見てあげて♡」

グッ
ポッ

グッ
ホッ
グッ

えっ
えっ
えっ

「うわーっ」

「みやー姉」

「みやー姉みやー姉っ」

グッ
ポッ

グッ
ポッ

あっ
あっ

っ
っ

びび
びび

「みやー姉みやー姉っ♡」

「みやー姉っ♡♡」



ひゃー！

ひゃー
ひゃー
ひゃー

ひゃー



っー……

「お風呂に出たわこりゃ…♡」

「さすがにデキちまうかもW」

お……

びゅんびゅん
びゅんびゅん

びゅんびゅん
びゅんびゅん

お……

「そろそろ、乗り換え、かもなあ」

An anime-style illustration of two young women in a shower. The woman on the left has a milk mustache and is looking at the woman on the right. The woman on the right has a milk drip on her chin and is looking back. Both are wearing dark bikinis. The background is a shower stall with wooden panels.

「あとはやりたい人の好きにしてーぜ」

「まじすか?」

「俺は十分やったし次探すわ」

「つてかコーヒー牛乳でも飲んでえw」

「みやー姉……みやー姉……」

「ごめん……ごめんねひなた……」

「みやー姉……」

おわり